
2025年度 第3四半期 決算説明資料

2026年1月30日

四国電力株式会社

目次

連結決算、業績・配当予想のポイント

2

I. 2025年度 第3四半期 連結決算の概要

- 収支概要 4
- 主要データ 5
- 連結収支明細（電気事業、電気事業以外の事業） 6
- 連結経常利益 前年度との差異内訳 7
- 経常利益（セグメント別） 8
- 財政状態 9

II. 2025年度 連結業績予想および配当予想

10

- 経常利益予想 前回公表との差異内訳 11
- " セグメント別 12

2025年度 第3四半期決算 補足データ

1.セグメント情報

- セグメント別の決算概要 14
- 設備投資額 20

2.電気事業関係

- 販売電力量 21
- 発受電電力量、化石燃料の消費実績 22
- 燃料費調整制度による期ずれ影響 23
- 新電力の小売販売量シェア（特別高圧・高圧、低圧：四国エリア） 24
- 電化住宅契約口数の推移（累計：四国エリア） 26
- JEPXスポット市場価格（四国エリア）の推移 27
- 再生可能エネルギーの固定価格買取制度 28

【2025年度 第3四半期 連結決算】 減収・減益

売上高

5,610億円

前年差：**▲569億円**

利 益

〈経常利益〉

653億円

前年差：**▲20億円**

〈親会社株主に帰属する四半期純利益〉

482億円

前年差：**▲13億円**

【2025年度 連結業績・配当予想】（2025年4月の公表内容を今回修正）

売 上 高

7,700億円

利 益

〈経常利益〉

680億円

〈親会社株主に帰属する当期純利益〉

520億円

配 当

〈中間配当〉

1株当たり25円(実績)

〈期末配当〉

1株当たり25円(予想)

(余 白)

I. 2025年度 第3四半期 連結決算の概要

収支概要 ※明細は6~7ページ参照

		(億円)			
		2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差	伸び率
売 上 高	5,610	6,179	▲ 569	▲ 9.2%	
營 業 費 用	4,956	5,526	▲ 570	▲ 10.3%	
營 業 利 益	653	653	0	0.0%	
營 業 外 損 益	0	20	▲ 20	▲ 99.6%	
經 常 利 益	653	673	▲ 20	▲ 3.0%	
法 人 税 ほ か	171	178	▲ 7	▲ 4.1%	
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	482	495	▲ 13	▲ 2.7%	
1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益	234円	241円	▲ 7円	▲ 2.7%	

主要データ

電気事業 主要諸元

	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差
総販売電力量 ^{※1}	25,485	25,818	▲ 333
小売販売電力量	16,890	16,563	327
電 灯	5,075	5,187	▲ 112
電 力	11,814	11,376	438
卸販売電力量	8,595	9,255	▲ 660
四国のエリア需要 ^{※2}	18,883	19,303	▲ 420

原子力利用率 (%)	73	68	5
出水率 (%)	90	105	▲ 15
石炭通関CIF (\$/t)	120	155	▲ 35
LNG通関CIF (\$/t)	571	612	▲ 41
原油通関CIF (\$/b)	73	84	▲ 11
為替レート (円/\$)	149	153	▲ 4
四国エリアのJEPX スポット市場価格 (円/kWh)	9.0	10.9	▲ 1.9

※ 1 (1) 決算日において未確定であるインバランス電力量等は含めていない。

(2) 当社及び四国電力送配電(株)の合計値 (内部取引消去後)

※ 2 四国電力送配電(株)の公表する電力需給データ (送電端ベース) より算定

主要諸元の需給関連費への影響額

	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差
原子力利用率 (1%)	5	7	▲ 2
出水率 (1%)	3	3	▲ 0
石炭通関CIF (1\$/t)	5	5	▲ 0
原油通関CIF (1\$/b)	0	1	▲ 1
為替レート (1円/\$)	6	7	▲ 1

連結収支明細 (電気事業、電気事業以外の事業)

(億円)

		2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差	伸び率
売上高	電気事業	小売販売収入	※ 3,627	※ 3,806	▲ 179 ▲ 4.7%
		卸販売収入	982	1,361	▲ 379 ▲ 27.8%
		その他収入	298	344	▲ 46 ▲ 13.4%
		小計	4,908	5,513	▲ 605 ▲ 11.0%
	電気事業以外の事業		701	666	35 5.2%
		合計	5,610	6,179	▲ 569 ▲ 9.2%
営業費用	電気事業	人件費	230	302	▲ 72 ▲ 23.9%
		燃料費	638	863	▲ 225 ▲ 26.1%
		購入電力料	1,584	1,966	▲ 382 ▲ 19.4%
		減価償却費	391	382	9 2.3%
		修繕費	517	486	31 6.4%
		原子力バッケンド費用	99	91	8 7.8%
		その他費用	905	863	42 4.9%
		小計	4,366	4,957	▲ 591 ▲ 11.9%
	電気事業以外の事業		590	569	21 3.7%
		合計	4,956	5,526	▲ 570 ▲ 10.3%
営業利益		653	653	0	0.0%
営業外損益		0	20	▲ 20	▲ 99.6%
経常利益		653	673	▲ 20	▲ 3.0%
法人税ほか		171	178	▲ 7	▲ 4.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益		482	495	▲ 13	▲ 2.7%

(差異理由 : 億円)

①【小売販売収入】

- ・小売販売電力量の増 (+89)
- ・収入単価の低下(燃調含み) (▲262) 他

②【卸販売収入・その他収入】 ▲425

- ・卸販売電力量の減 (▲74)
- ・収入単価の低下 (▲134)
- ・容量市場の約定価格低下による影響 (▲179)
- ・FIT関係 需給調整収支の悪化 (▲65) 他

③【人件費】

- ・退職給付に係る数理計算上の差異償却 (▲82) 他

④【需給関連費 (燃料費+購入電力料)】 ▲608

- ・総販売電力量の減 (▲30)
- ・原子力の増 (▲27)
- ・水力の減 (+58)
- ・火力単価の低下 (▲336)
- ・FIT買取分の回避可能費用単価の低下 (▲93)
- ・容量市場の約定価格低下による影響 (▲164) 他

⑤【修繕費】

- ・火力関係工事の増 (+69)
- ・原子力関係工事の減 (▲34) 他

※ 小売販売収入には、国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」、「酷暑乗り切り緊急支援」及び「電気・ガス料金負担軽減支援事業」により受領する電気事業にかかる補助金を含んでいる。

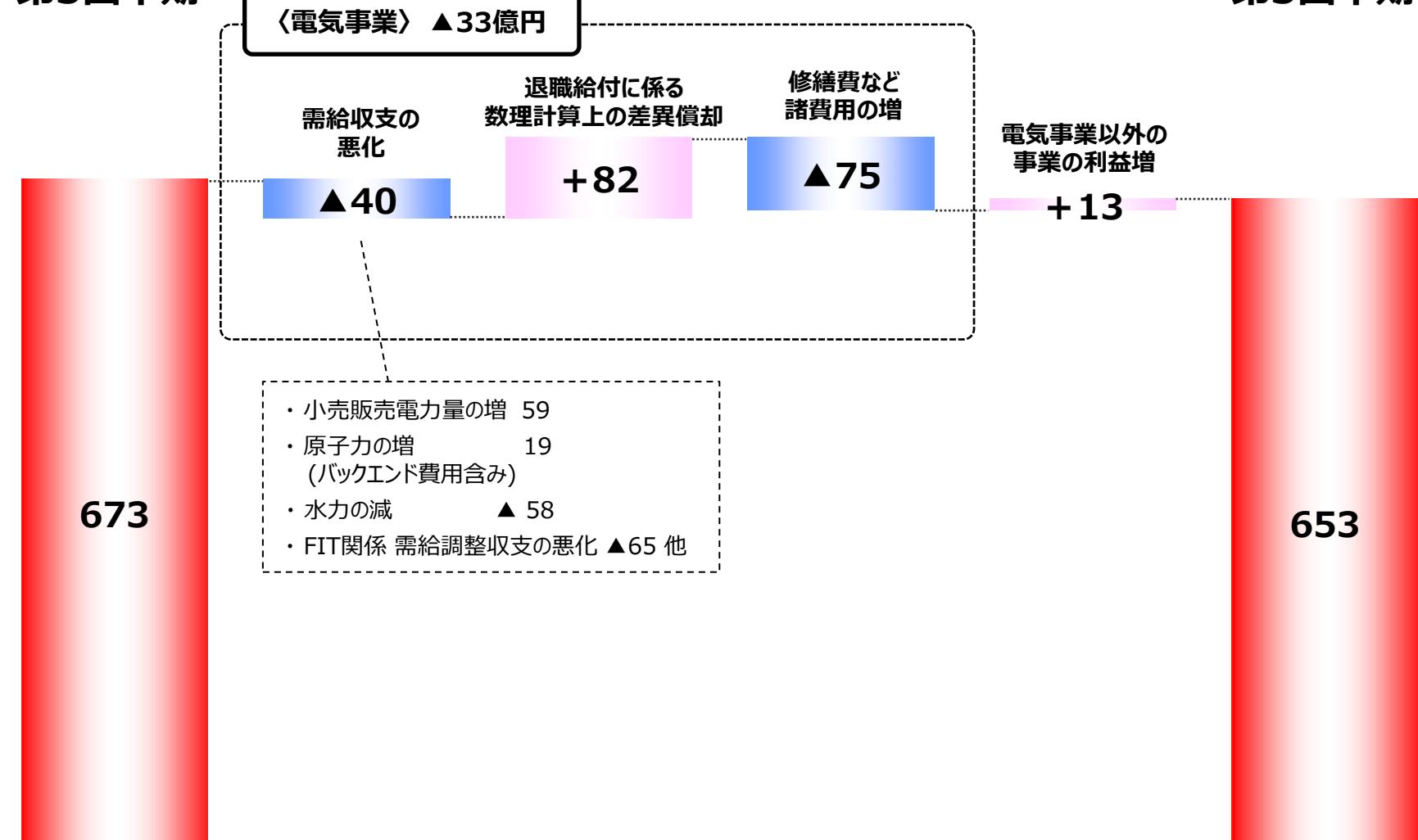
連結経常利益 前年度との差異内訳

7

2024年度
第3四半期

▲20億円

(単位：億円)
2025年度
第3四半期



経常利益 (セグメント別)

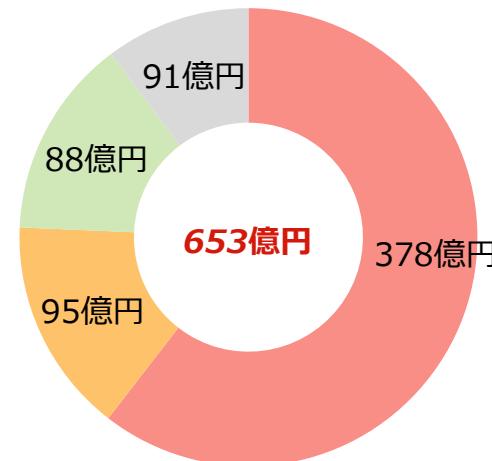
セグメント (内部取引消去前)		経常利益		
		2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差
連 結		653	673	▲ 20
電気事業	発電・販売	474	507	▲ 33
	送配電	378	300	78
電気事業以外の事業	情報通信事業	183	165	18
	エネルギー事業	88	81	7
	建設・エンジニアリング事業	39	35	4
	その他事業	25	29	▲ 4
	調整額	30	18	12
	調整額	▲ 3	0	▲ 3

※ 発電・販売の経常利益は、連結子会社および持分法適用会社からの受取配当金を除く

※ 端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある

2025年度第3四半期 セグメント別 連結経常利益

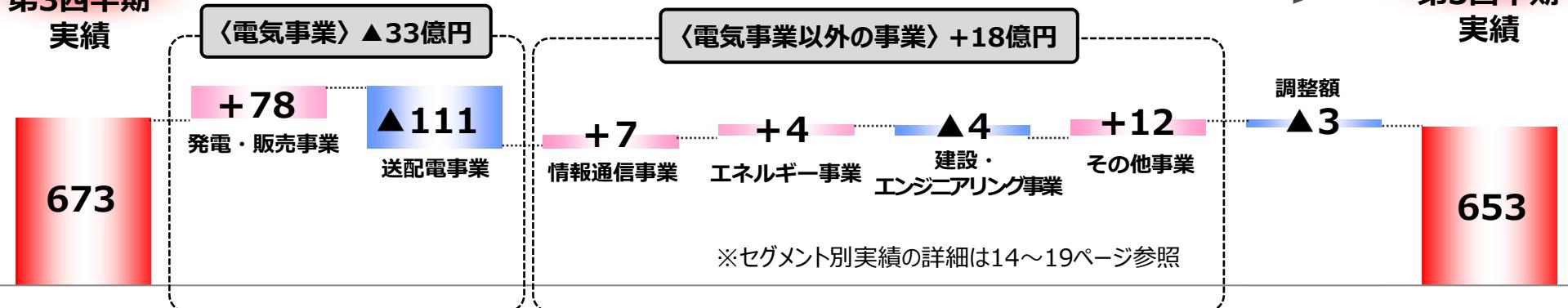
■ 発電・販売事業 ■ 送配電事業 ■ 情報通信事業 ■ 左記以外



2024年度
第3四半期
実績

連結経常利益 ▲20億円

(単位: 億円)
2025年度
第3四半期
実績



(億円)

	2025年度 第3四半期末	2024年度末	増 減	主な増減理由
資 産	17,158	16,874	284	
事 業 用 資 産	9,389	8,988	401	・設備投資 +871 ・減価償却 ▲446 ・設備除却など ▲24
核 燃 料	1,428	1,429	▲ 1	
投 資 等	6,340	6,456	▲ 116	・事業拡大に係る出資・融資 +160 ・手元資金の減など ▲276
負 債	12,467	12,466	1	
社 債 ・ 借 入 金	9,322	8,992	330	
そ の 他 の 負 債	3,144	3,473	▲ 329	
純 資 産	4,691	4,408	283	
資 本 金 ・ 資 本 剰 余 金	1,491	1,491	-	
利 益 剰 余 金	2,938	2,548	390	・親会社株主に帰属する純利益の計上 +482 ・配当金支払い ▲92
その他の包括利益累計額等	261	368	▲ 107	・退職給付に係る調整累計額 ▲97
自己資本比率	27.2%	26.0%	1.2%	

II. 2025年度 連結業績予想および配当予想

連結業績予想

	2025年度予想 (今回公表)
売 上 高	7,700
営 業 利 益	685
経 常 利 益	680
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	520
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	253円

	(億円)
<参考> 2025年4月公表	
8,000	
535	
530	
410	
199円	

電力販売予想

	2025年度予想 (今回公表)
小売販売電力量	229
卸販売電力量	115
総販売電力量	344

	(億kWh)
<参考> 2025年4月公表	
221	
125	
347	

前提諸元

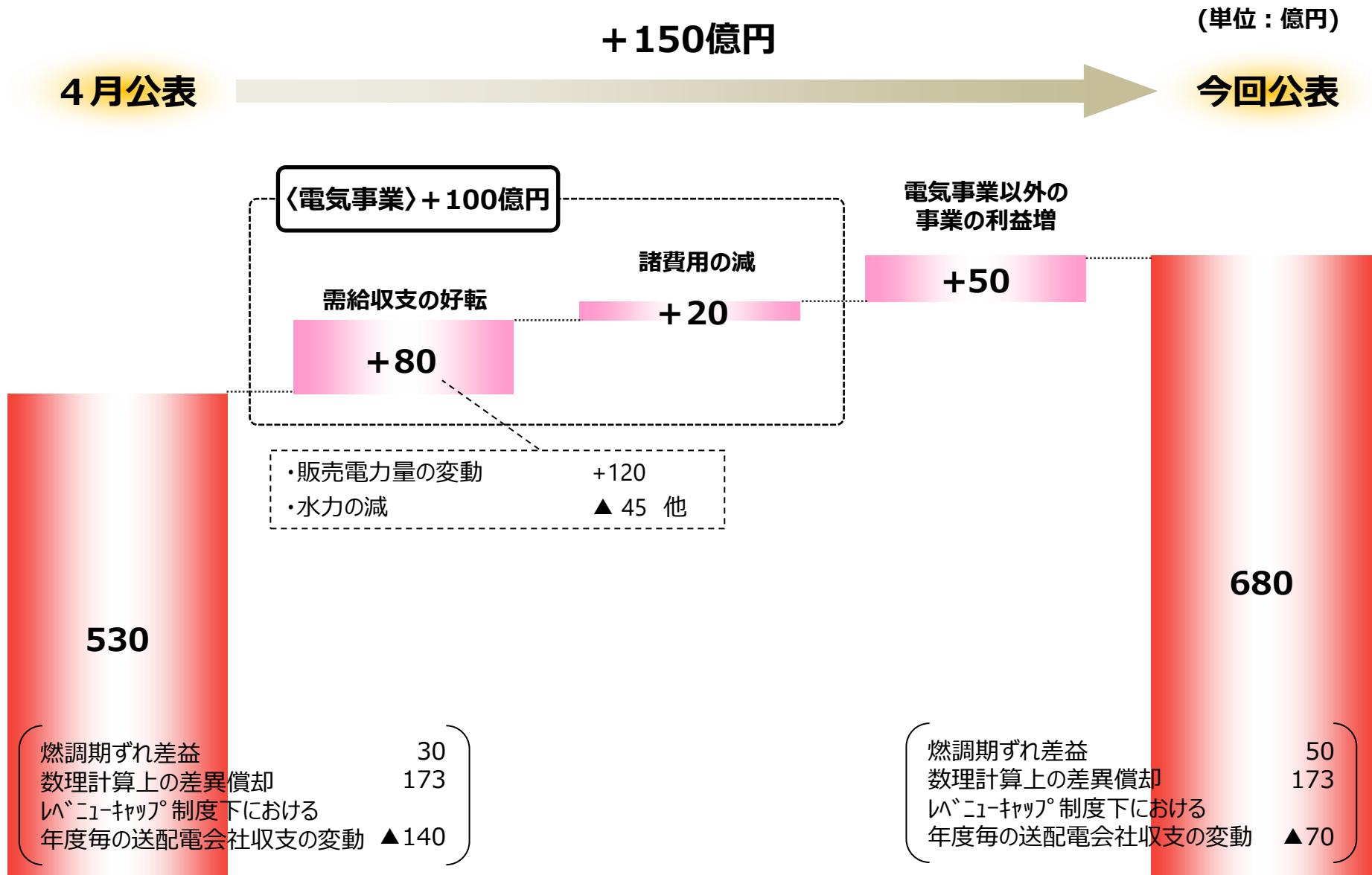
1株当たり配当金予想

	2025年度予想
中 間 配 当	25円
期 末 配 当	25円(予想)
合 計	50円(予想)

	<参考> 2025年4月公表
原子力利用率(%)	81
石炭CIF価格(\$/t)	120
原油CIF価格(\$/b)	70

	2025年度予想 (今回公表)
原子力利用率(%)	81
石炭CIF価格(\$/t)	120
原油CIF価格(\$/b)	70
為替レート (円/\$)	150

	<参考> 2025年4月公表
81	
140	
75	
145	



経常利益予想 セグメント別

12

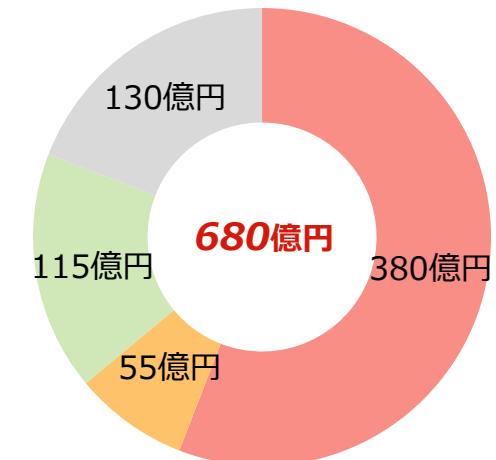
セグメント (内部取引消去前)	経常利益	
	2025年度予想 (今回公表)	<参考> 2025年4月公表
連 結	680	530
電気事業	435	335
発電・販売*	380	350
送配電	55	▲ 15
電気事業以外の事業	245	195
情報通信事業	115	100
エネルギー事業	50	45
建設・エンジニアリング事業	40	25
その他事業	40	25

* 発電・販売の経常利益は、連結子会社および持分法適用会社からの受取配当金を除く

※ 端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある

2025年度 セグメント別 連結経常利益予想

■発電・販売事業 ■送配電事業 ■情報通信事業 ■左記以外

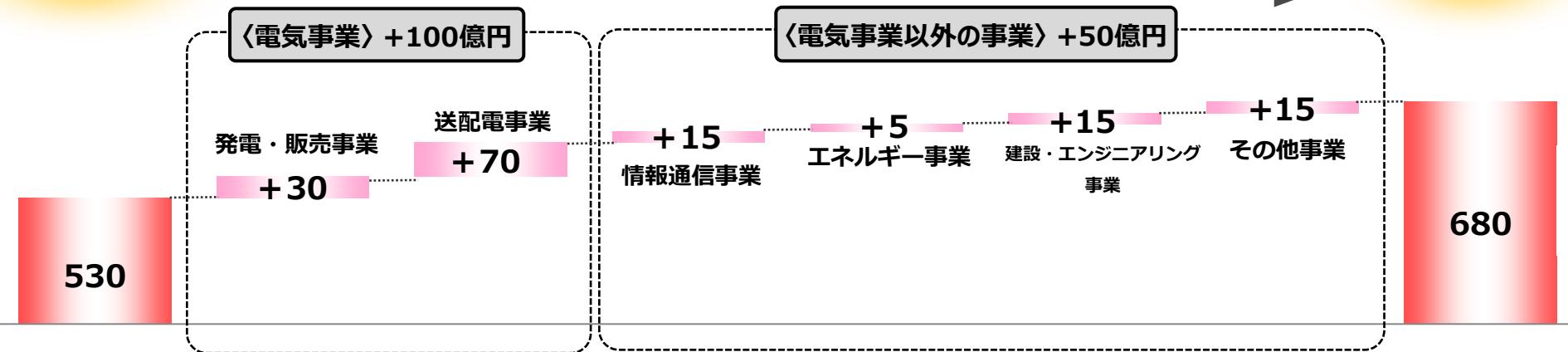


4月公表

連結経常利益 +150億円

(単位: 億円)

今回公表



2025年度 第3四半期決算 補足データ

1. セグメント情報

- ・セグメント別の決算概要
- ・設備投資額

2. 電気事業関係

- ・販売電力量
- ・発受電電力量、化石燃料の消費実績
- ・燃料費調整制度による期ずれ影響
- ・新電力の小売販売量シェア（特別高圧・高圧、低圧：四国エリア）
- ・電化住宅契約口数の推移（累計：四国エリア）
- ・JEPXスポット市場価格（四国エリア）の推移
- ・再生可能エネルギーの固定価格買取制度

1. セグメント情報

セグメント別の決算概要：発電・販売事業

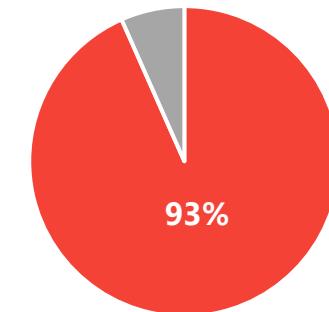
[売上高] 4,656億円（減収）

- 小売販売収入が燃料費調整額の減により減少したことや、卸販売収入が容量確保契約金の減等により減少したことなどから、前年に比べ、510億円減収の4,656億円。

[経常利益] 378億円（増益）

- 退職給付に係る数理計算上の差異償却により人件費が減少したことや、原子力の増などにより、前年に比べ、78億円増益の378億円。

[外部顧客への売上高比率]



(億円)				
	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差	主な差異理由（内部取引消去前）
売上高	4,656	5,166	▲ 510	小売販売収入の減(▲178)、卸販売収入の減(▲328) 他
経常利益	378	300	78	人件費の減(+47)、原子力の増(+19) 他

※ 連結子会社および持分法適用会社からの受取配当金を除く。

主な事業内容

- ✓ 国内における発電・小売電気事業

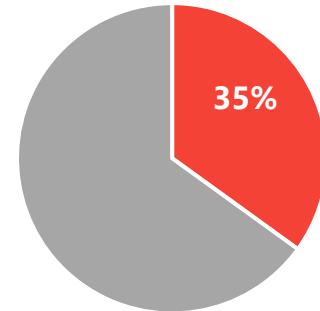
[売上高] 1,706億円 (減収)

- 需給調整収益が減少したことなどから
前年に比べ、135億円減収の1,706億円。

[経常利益] 95億円 (減益)

- 退職給付に係る数理計算上の差異償却により人件費が減少したものの、
需給調整収支が悪化したことなどから、前年に比べ、111億円減益の95億円。

[外部顧客への売上高比率]



	(億円)			主な差異理由 (内部取引消去前)
	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差	
売 上 高	1,706	1,841	▲ 135	需給調整収益の減(▲137) 他
経 常 利 益	95	206	▲ 111	需給調整収支の悪化(▲122)、人件費の減(+23) 他

主な事業内容

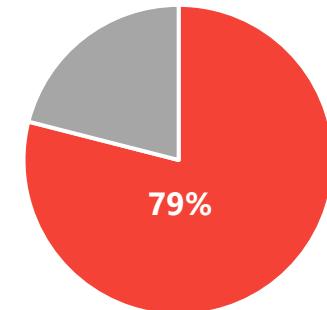
- ✓ 四国エリアにおける送配電事業

(主な事業主体：四国電力送配電(株))

[売上高] **384億円 (增收)**

- 個人向け光通信 [FTTH] の加入者数やデータセンター契約数の増加などにより、前年に比べ17億円增收の384億円。

[外部顧客への売上高比率]



[経常利益] **88億円 (増益)**

- 売上増に伴う利益増などにより、前年に比べ7億円増益の88億円。

(億円)

	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差	主な差異理由 (内部取引消去前)
売 上 高	384	367	17	個人向け光通信サービス[FTTH]の加入者数やデータセンター契約数の増 他
経 常 利 益	88	81	7	—

主な事業内容

- ✓ 通信事業 (個人向け光通信 [FTTH]、法人向け通信、モバイル)
- ✓ 情報事業 (データセンター、クラウド、システムの設計・開発・運用保守)
- ✓ ケーブルテレビ事業 等

(主な事業主体：(株)STNet、(株)ケーブルメディア四国、ケーブルテレビ徳島(株))

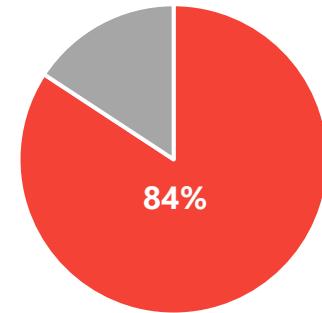
[売上高] 194億円 (減収)

- 前年に比べ1億円減収の194億円。

[経常利益] 39億円 (増益)

- 国際事業の利益増などにより、前年に比べ4億円増益の39億円。

[外部顧客への売上高比率]



(億円)

	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差	主な差異理由 (内部取引消去前)
売 上 高	194	195	▲ 1	—
経 常 利 益 (うち国際事業)	39 (26)	35 (22)	4 (4)	—国際事業の利益増 他 —持分法投資利益の増 他

主な事業内容

- ✓ 国際事業 (海外発電事業への出資・融資)
- ✓ LNG基地の建設・運営、LNGの販売
- ✓ 電気温水器・空調機器の販売
- ✓ 熱・ガス供給
- ✓ 石炭の調達・販売 等

(主な事業主体：坂出LNG(株)、四電エナジーサービス(株)、SEP International Netherlands B.V.、
YN Energy Pty Ltd)

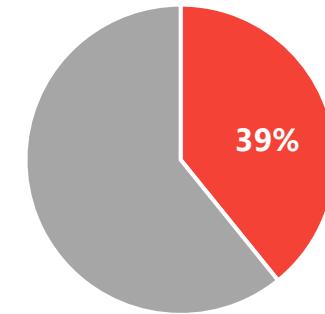
[売上高] **382億円 (増収)**

- 前年に比べ28億円増収の382億円。

[経常利益] **25億円 (減益)**

- 売上高は増加したものの、前年同期に利益率の高い請負工事が重なったことによる反動減などにより、前年に比べ4億円減益の25億円。

[外部顧客への売上高比率]



	(億円)			主な差異理由 (内部取引消去前)
	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差	
売 上 高	382	354	28	—
経 常 利 益	25	29	▲ 4	前年同期に利益率の高い請負工事が重なったことによる反動減

主な事業内容

- ✓ 電気設備工事の調査・設計・施工
- ✓ 土木建築工事の設計・環境影響評価 等

(主な事業主体：(株)四電工、四電エンジニアリング(株)、(株)四電技術コンサルタント)

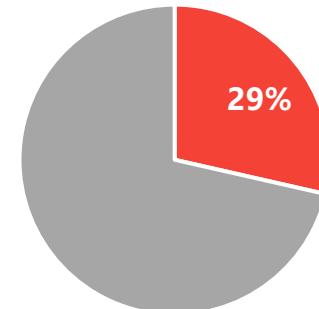
[売上高] **292億円 (増収)**

- ・製造事業の売上増などにより、前年に比べ57億円増収の292億円。

[経常利益] **30億円 (増益)**

- ・前年に比べ12億円増益の30億円。

[外部顧客への売上高比率]



(億円)

	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差	主な差異理由 (内部取引消去前)
売 上 高	292	235	57	− 製造事業の売上増 他
経 常 利 益	30	18	12	—

主な事業内容

- ✓ 自動計測機等の製造・販売
- ✓ 商事、不動産
- ✓ 電気事業等に関連する技術の研究開発 等

(主な事業主体：四国計測(株)、四電ビジネス(株)、(株)四国総合研究所)

(億円)

	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差
発電・販売事業	503	233	270
うち 再エネ	23	34	▲ 11
うち 火力	381	15	366
うち 原子力	61	106	▲ 45
うち 原子燃料	26	72	▲ 46
送配電事業	267	194	73
うち 送電	68	52	16
うち 変電	91	58	33
うち 配電	91	72	19
電気事業計	770	428	342
電気事業以外の事業	131	91	40
情報通信事業	28	46	▲ 18
エネルギー事業	11	17	▲ 6
建設・エンジニアリング事業、その他事業	90	27	63
設備投資額※	901	520	381

※ 未実現利益消去前

2. 電気事業関係

販売電力量

販売電力量

(百万kWh)

	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差	伸び率	主な差異理由
小売販売 計	16,890	16,563	327	2.0%	-契約電力の増加など
電 灯	5,075	5,187	▲ 112	▲ 2.2%	
電 力	11,814	11,376	438	3.9%	
卸 販 売	8,595	9,255	▲ 660	▲ 7.1%	-相対販売の減少など
総販売電力量	25,485	25,818	▲ 333	▲ 1.3%	

※ 決算日において未確定であるインバランス電力量等は含めていない。

※ 当社及び四国電力送配電(株)の合計値（内部取引消去後）

<参考>四国 4 県都の平均気温

(°C)

	6月	7月	8月	9月	6-9月平均
実 績	24.9	29.3	29.7	27.5	27.9
平年差	1.8	2.2	1.6	2.7	2.1
前年差	1.5	0.4	▲ 0.4	▲ 0.6	0.2

	10月	11月	12月	10-12月平均
実 績	21.8	14.0	9.5	15.1
平年差	2.5	0.3	0.9	1.2
前年差	▲ 0.1	▲ 1.1	1.1	▲ 0.0

発受電電力量、化石燃料の消費実績

発受電電力量

		(百万kWh)				
		2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差	伸び率	備考
自社	原 子 力	4,136	3,820	316	8.3%	・原子力利用率 68% → 73%
	水 力 *	1,402	1,847	▲ 445	▲ 24.1%	・出水率 105% → 90%
	新 工 ネ *	5	3	2	62.1%	
	火 力	6,677	7,038	▲ 361	▲ 5.1%	
他 社 受 電		14,746	14,672	74	0.5%	
再掲(水力)*		(831)	(1,022)	(▲ 191)	(▲ 18.7%)	
再掲(新工ネ)*		(5,283)	(4,538)	(745)	(16.4%)	
合 計		26,966	27,380	▲ 414	▲ 1.5%	
再掲(再工ネ)*		(7,521)	(7,410)	(111)	(1.5%)	
再 工 ネ 比 率 *の合計		27.9%	27.1%	0.8%		

※ 決算日において未確定であるインバランス電力量等は含めていない。

※ 当社及び四国電力送配電(株)の合計値(内部取引消去後)

化石燃料の消費実績

	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差
石炭(万t)	193.1	185.6	7.5
重油(万kl)	2.1	7.6	▲ 5.5
LNG(万t)	16.8	20.1	▲ 3.3

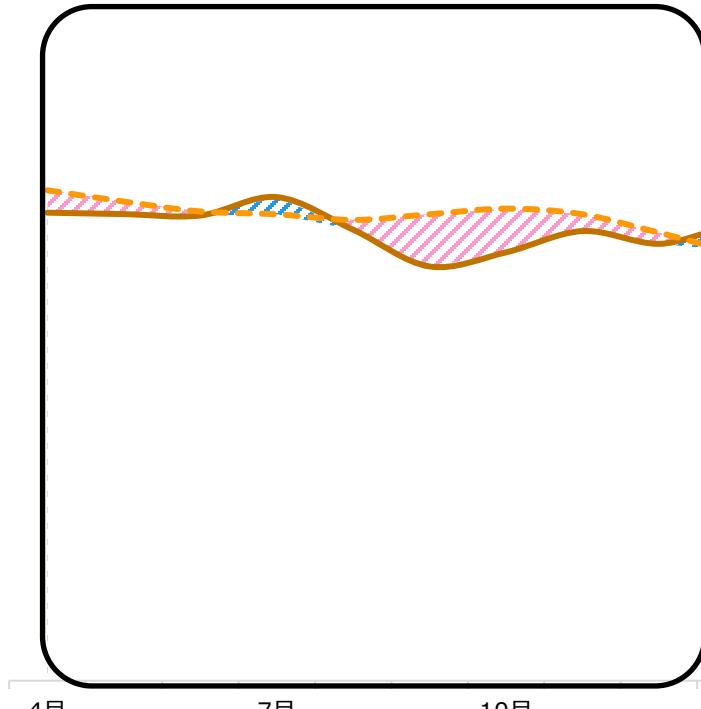
燃料費調整制度による期ずれ影響

- 2025年度第3四半期の期ずれ影響は約60億円。

※毎月の燃料価格は3～5カ月遅れて燃料費調整単価に反映される。期ずれ影響額は、燃料費調整額と燃料価格の適用に遅れない場合の収入金額の差であり、実際の燃料費等により算定される収支影響とは異なる。

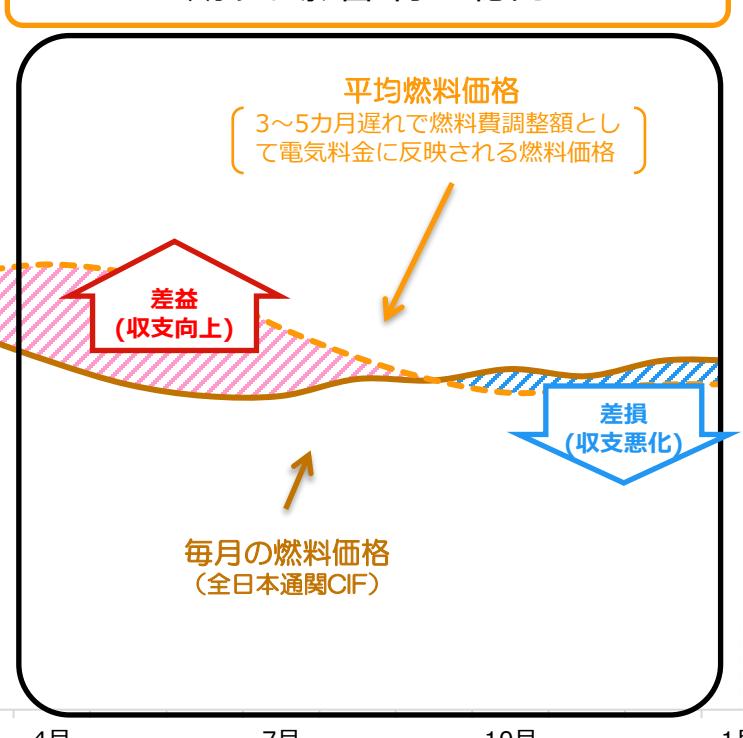
2024年度第3四半期

期ずれ影響 約30億円



2025年度第3四半期

期ずれ影響 約60億円



4月

7月

10月

1月

4月

7月

10月

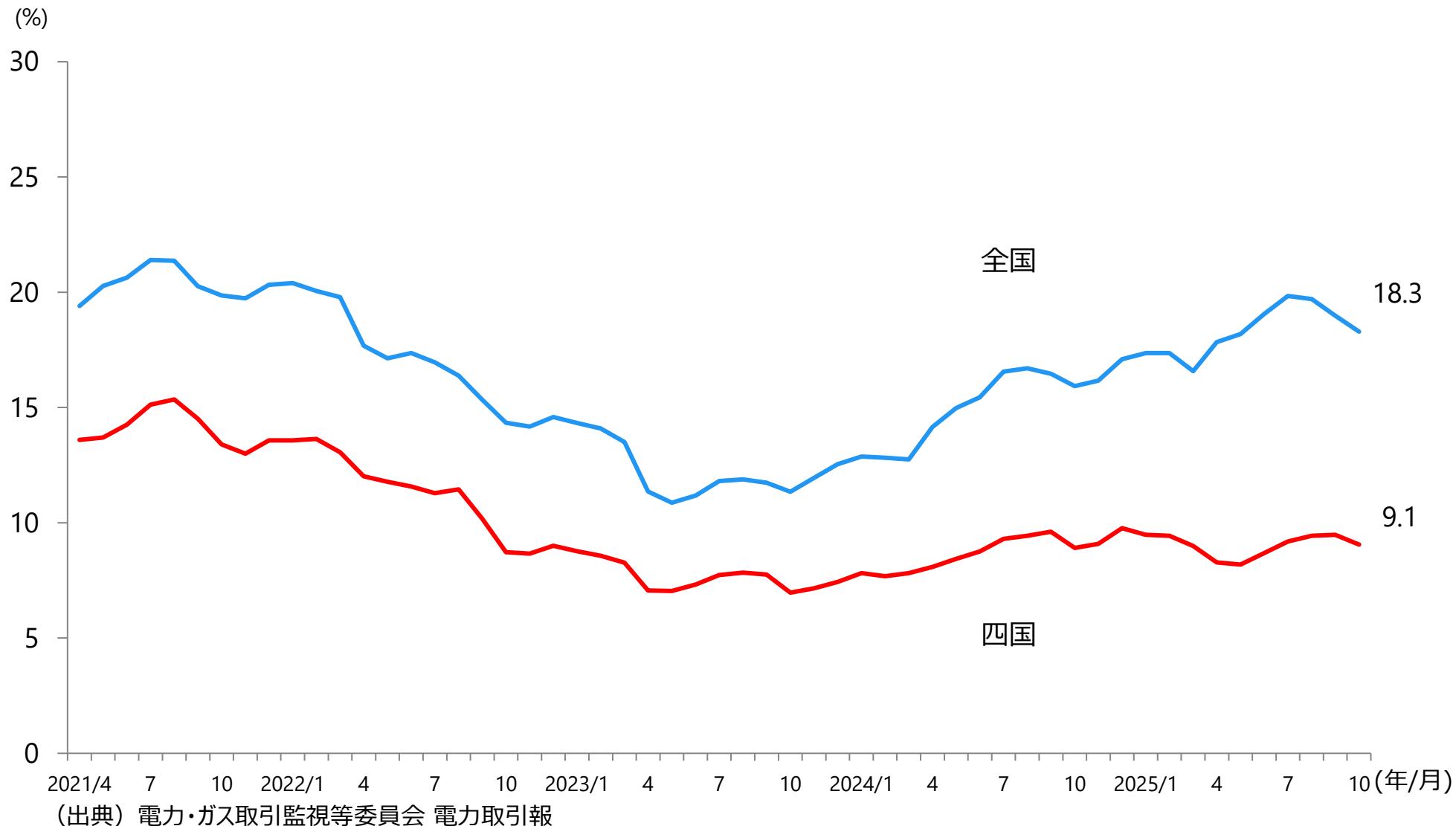
1月

2024年度

2025年度

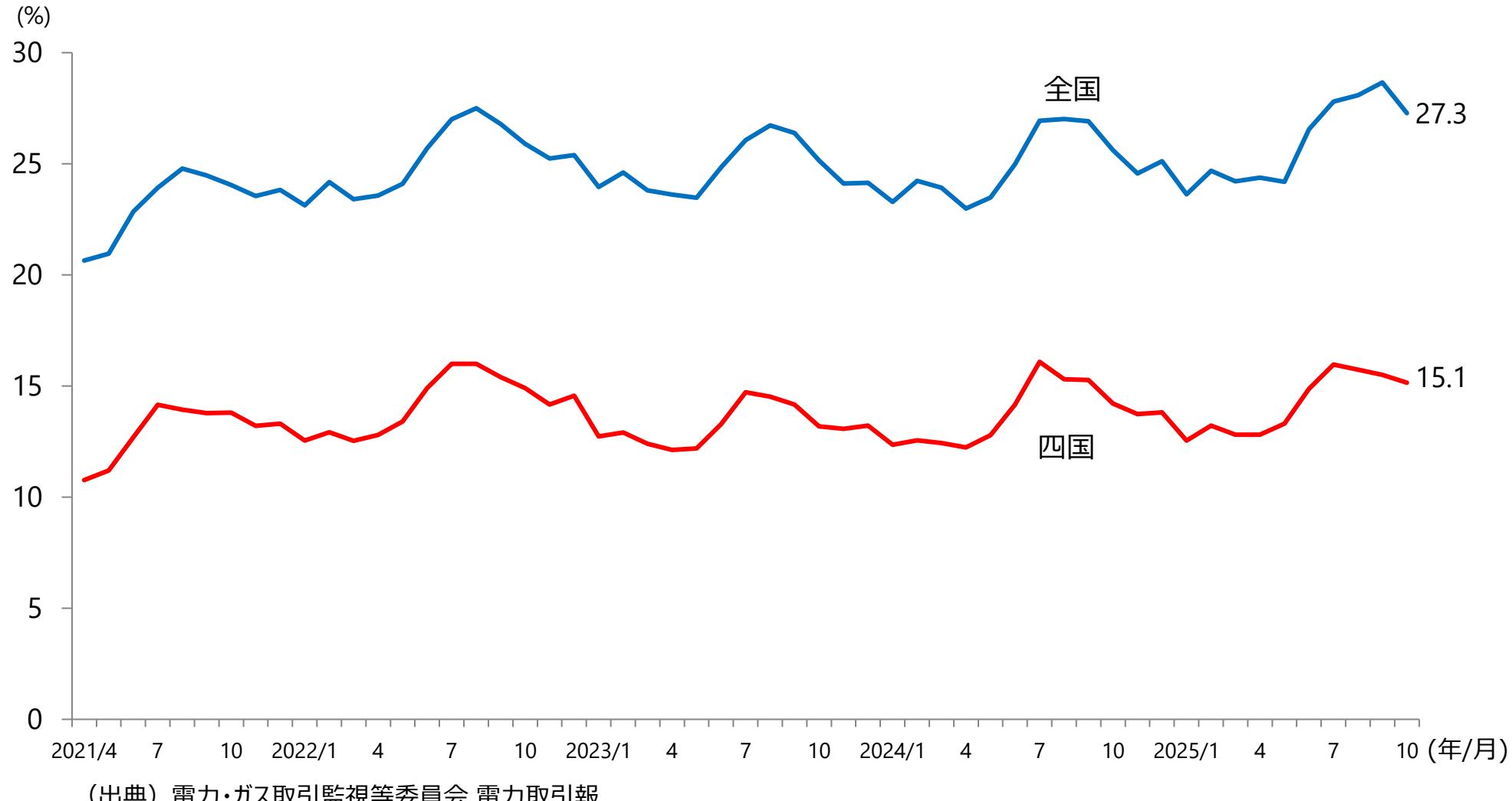
新電力の小売販売量シェア① (特別高圧・高圧：四国エリア)

24



新電力の小売販売量シェア② (低圧：四国エリア)

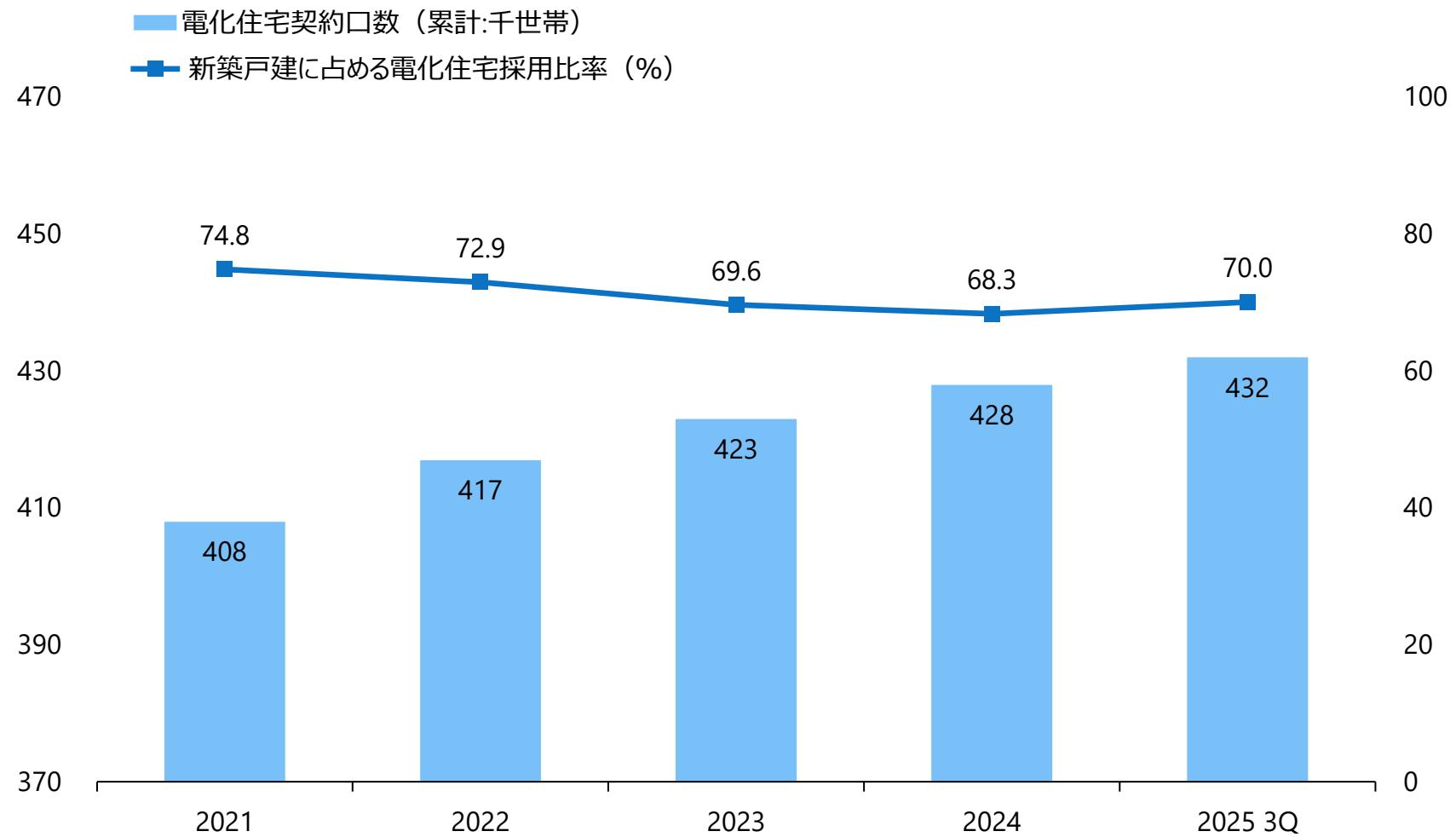
25



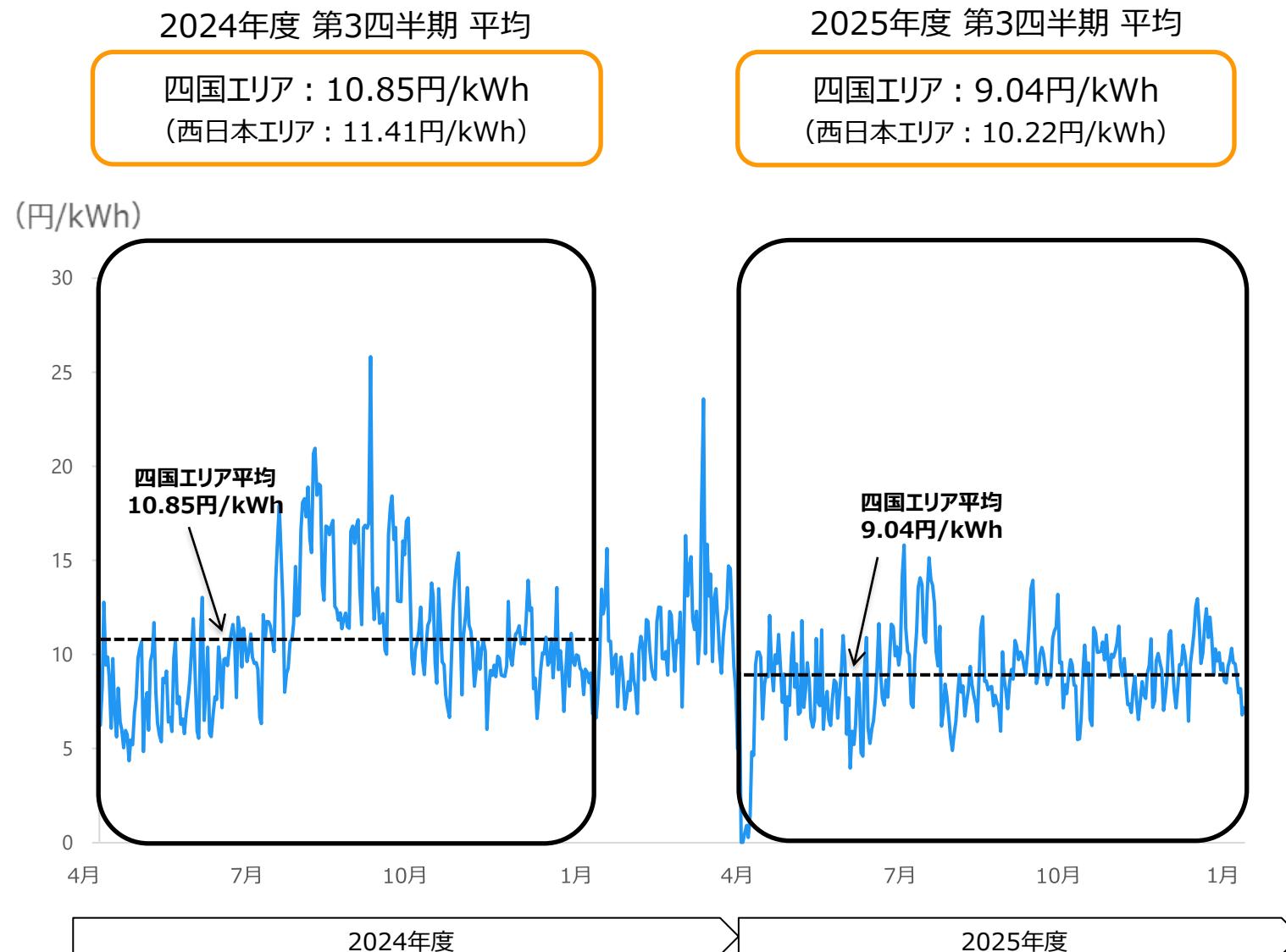
(出典) 電力・ガス取引監視等委員会 電力取引報

電化住宅契約口数の推移 (累計：四国エリア)

26



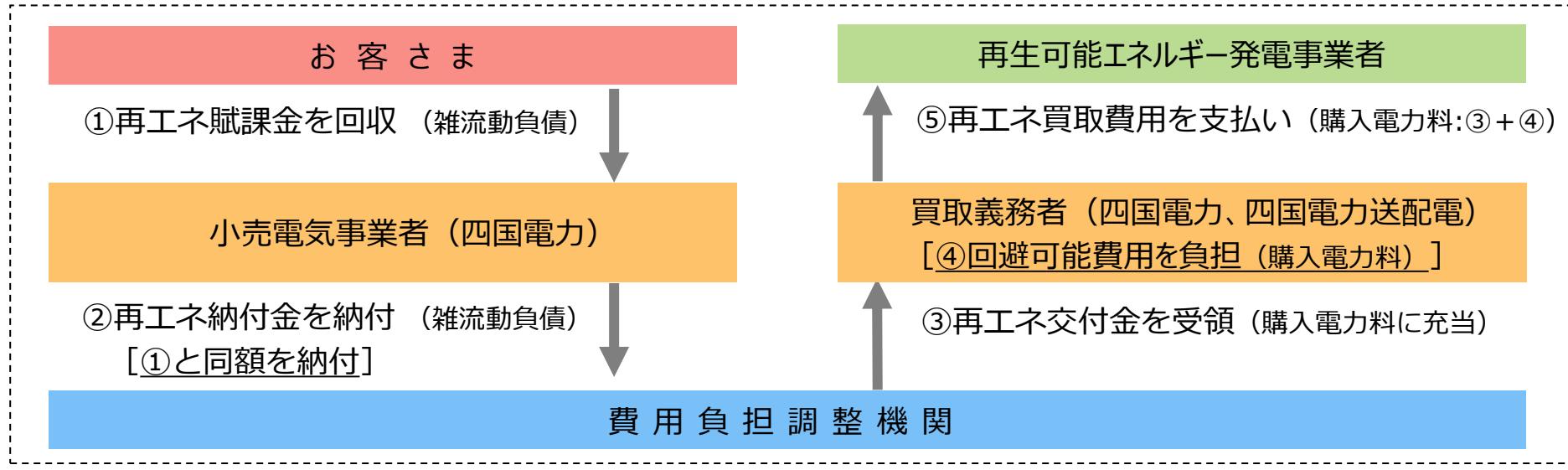
JEPXスポット市場価格（四国エリア）の推移



(出典) 日本卸電力取引所 取引市場データ

再生可能エネルギーの固定価格買取制度

→は金銭の流れ



	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差
①再エネ賦課金	577	473	104
②再エネ納付金			

※再エネ賦課金、再エネ納付金による収支影響はない

	2025年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年差
③再エネ交付金	1,020	805	215
④回避可能費用※1 (購入電力料) 〔市場価格で評価した〕 〔再エネkWhの金額〕	347	387	※2 ▲40
四国電力分	112	176	▲64
⑤再エネ買取コスト 〔③再エネ交付金 + ④回避可能費用〕	1,367	1,193	174

※1.FIT制度上は、四国電力送配電が買取するkWhは全て市場等で販売するため、基本的に
収支影響はない

※2.前年差のうち、単価差が▲93億円、数量差が53億円

おことわり

本プレゼンテーションに含まれている業績見通し、将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績等につきましては、様々な要因により、記載されている見通し等とは異なる場合がありうることをご承知おきください。

なお、実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済・社会情勢、エネルギー政策や電気事業制度、原子力規制の変更、競争の進展、気温変動等の気象状況、急速な為替や燃料価格の変動などがあります。



四国電力株式会社

しあわせのチカラになりたい。